

# 『ひのっ子日野宿発見』

＜協力団体＞

北原念佛講  
横町自治会

佐藤彦五郎新選組資料館  
井上源三郎資料館

日野宮神社氏子会  
八坂神社

宝泉寺

成就院

大昌寺

日野駅前郵便局

NPO法人日野市観光協会  
日野の歴史と民俗の会

日野ふれあい商店会

JR日野駅

馬場商会

谷地馬・尾花

リトルホースとふれあう会

日野宿発見隊

日野第一小学校

日野第一小学校PTA

東光寺小学校

東光寺小学校PTA

停田小学校

停田小学校PTA

日野第一中学校

日野第一中学校PTA

教育センター

郷土資料館

中央公民館

新選組のふるさと歴史館

日野宿本陣

日野宿交流館

上記のほかにも多くの個人、団体の方々の  
ご協力をいただきました

発行日 平成23年(2011)1月31日

企画・編集 日野宿子ども発見隊事業

実行委員会

絵 / 広田 美穂

文 / おおぎやなぎ ちか

構成 / 井上博司

発行 日野市教育委員会

印刷 夢版・宣土オフィス&ライフサービス指

問合せ先 日野市立日野図書館

〒191-0011

日野市日野本町7-5-14

☎042-584-0167

URL 日野宿発見隊ホームページ

<http://www.hinoshuku.com>

ひのっ子日野宿発見ホームページ

<http://ehon.hinoshuku.com>

この本は

「平成22年度地域ぐるみの子ども読書活動推進事業」

の委託を受け刊行しました

\*無断転載を禁じます

ひのっ子

日野宿発見

# ひのっ子 日野宿発見



日野  
市教育  
委員会

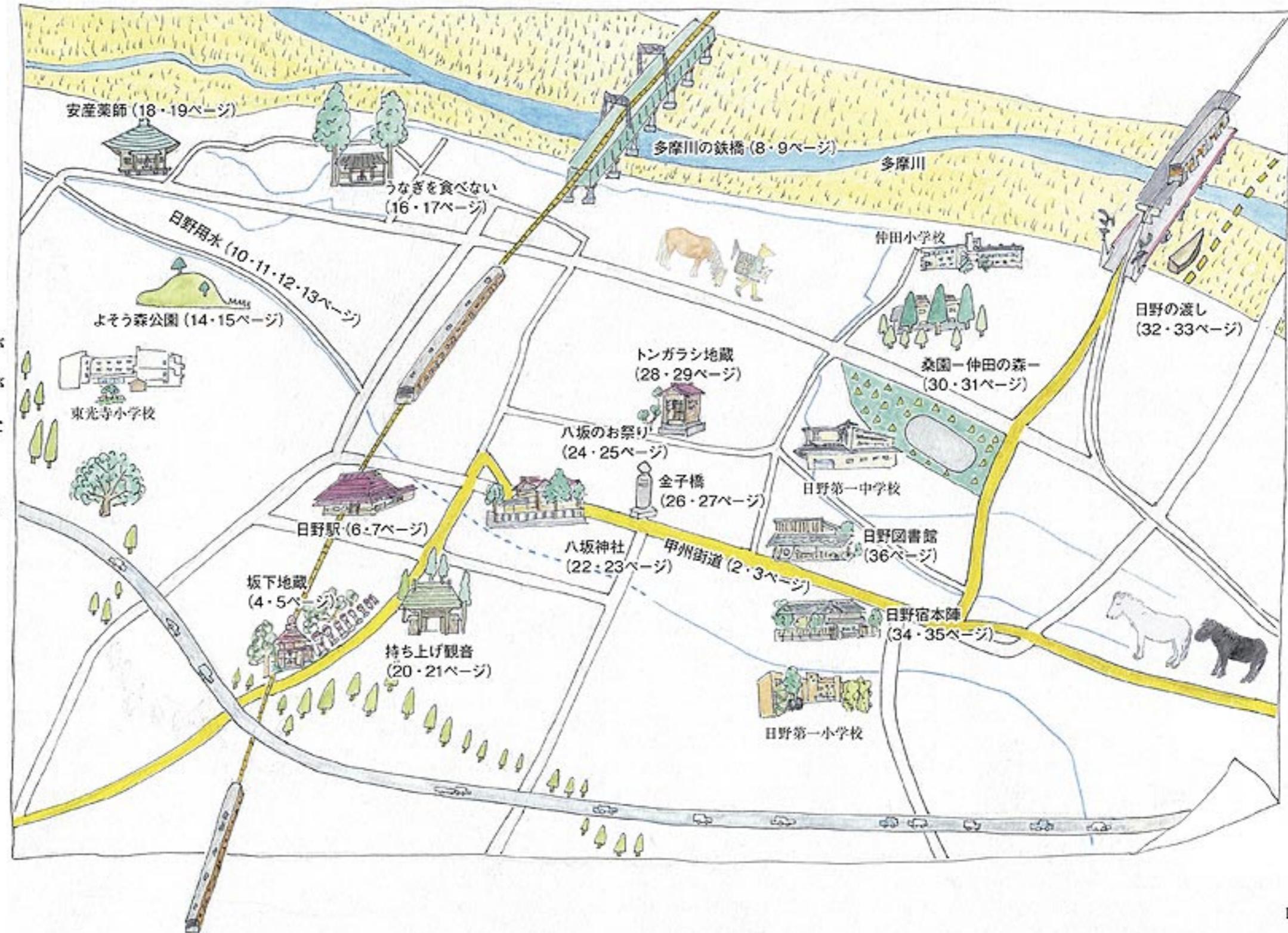
# ひのっ子日野宿発見

ひのっ子  
日野の子どもたち  
みんな集まれ

ひのっ子  
日野宿歩いてみよう

日野で生まれた人たちが  
日野で暮らした人たちが  
まちの歴史を作ってきた

まちの歴史を作っていく



# こうしゅうかいどう 甲州街道

今のように舗装されてはいない道を、むかしの人はどのようにして旅をしたのでしょうか。駕籠や馬もありましたが、多くの人はわらじをはいて歩いていました。

甲州街道は、江戸時代に作られた五街道のひとつ。江戸の町から旅人は、今的新宿や府中を通り、舟で多摩川を渡り日野に来ました。八王子を過ぎると、山をいくつもこえ下諏訪（長野）まで続いています。

日野宿は、旅人が泊まったり休んだりした宿場のひとつで、日野はここを中心に栄えてきました。

日野宿から甲州街道の始まりの日本橋までは、およそ10里（1里は、約4キロメートル）。ふつうの大人が休まずに歩いて、10時間ほどで





## さかしたじぞう 坂下地蔵

ところでむかしの甲州街道は、今と全く同じではありません。

日野駅ホームから見える宝泉寺の山門、大きなケヤキとイチョウの木。

山門を左に見ながら、歩いてみましょう。この坂道は、むかしの甲州  
街道の一部。少し行くと、右側にお地蔵様がならんでいます。

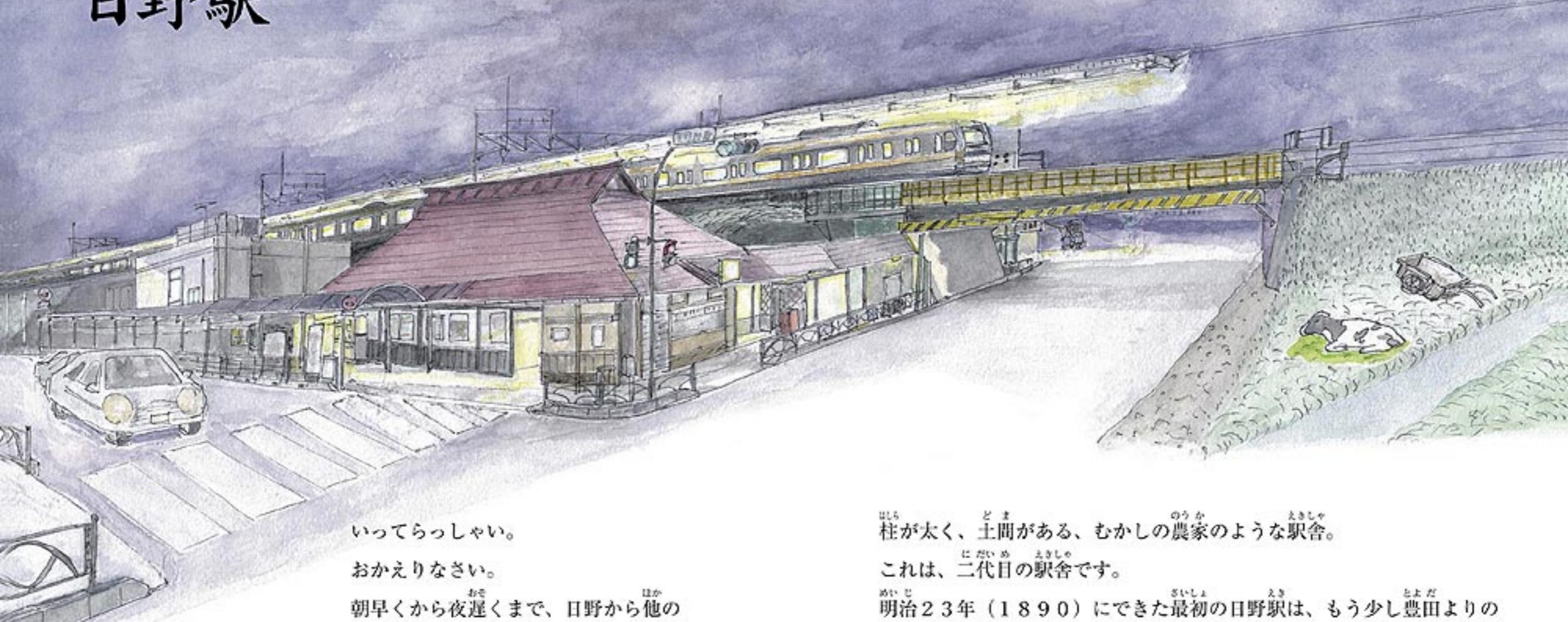
お地蔵様はいくつありますか？

後ろのお堂には、大きな延命地蔵尊があります。坂下という坂の下にあ  
るので「坂下地蔵」、ここは日野宿の西のはずれになるので、「西の地  
蔵」とも呼ばれています。

日野宿の東側には、「東の地蔵」もあります。



えき  
日野駅



いってらっしゃい。

おかえりなさい。

朝早くから夜遅くまで、日野から他の  
町へ行く人と、他の町から日野に来る  
人が行き交う駅。

柱が太く、土間がある、むかしの農家のよう<sup>のうか</sup>な駅舎。

これは、二代目の駅舎です。

明治23年（1890）にできた最初の日野駅は、もう少し豊田よりの  
ところにありました。列車を引いていたのは蒸気機関車。<sup>れっしゃ</sup> 1日4往復  
でした。

たまがわてつきょう

# 多摩川の鉄橋



立川に買い物に行くときも、東京ドームに野球を観に行くときも、  
東京駅や羽田空港に行くときも、必ず多摩川を渡ります。

中央線で多摩川を何回渡ったことがありますか？

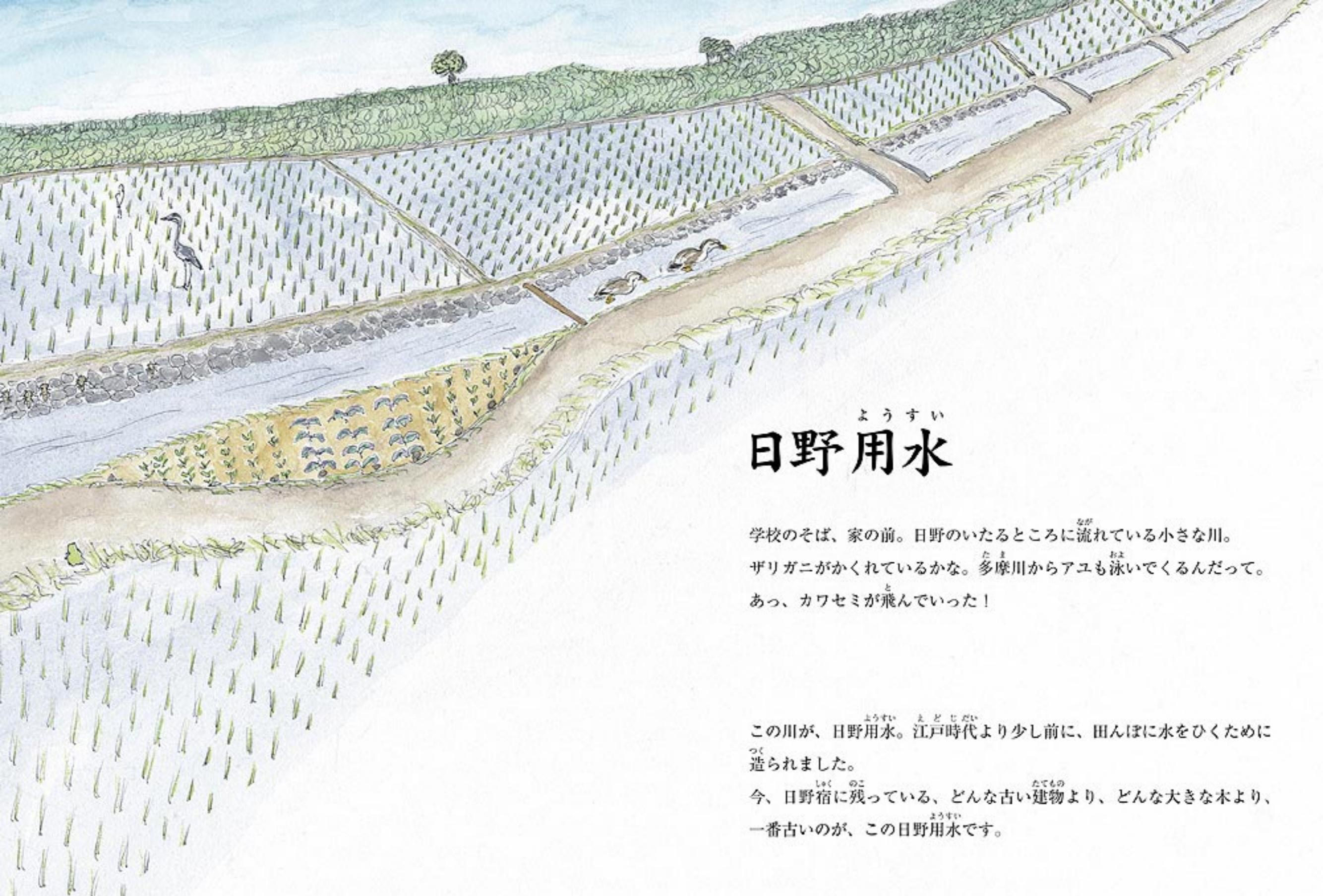
10回、20回？ もっとたくさん。100回、200回？  
もっともっと？

電車が橋を渡るとき、ゴーッとすごい音が響きます。  
この多摩川鉄橋の上り線は、中央線が造られた時からのま  
まで、脚の部分には日野レンガが使われています。

今はコンクリートで外から補強されていますが、立川側の  
岸に1本だけレンガのままの橋脚を見ることができます。

日野にはレンガを造る工場がありました。鉄橋以外にも、  
日野用水にかかる橋など、日野レンガが残っているところ  
があります。





## ようすい 日野用水

学校のそば、家の前。日野のいたるところに流れてる小さな川。  
ザリガニがかくれてるかな。多摩川からアユも泳いでくるんだって。  
あっ、カワセミが飛んでいった！

この川が、日野用水。江戸時代より少し前に、田んぼに水をひくために  
つくられました。

今、日野宿に残っている、どんな古い建物より、どんな大きな木より、  
一番古いのが、この日野用水です。

# ようすい なが 日野用水の流れ

日野第一小学校、東光寺小学校、仲田小学校へ、日野用水をたどって行くことでもできるね。ふたつに分かれたり、道路の下に隠れたり。

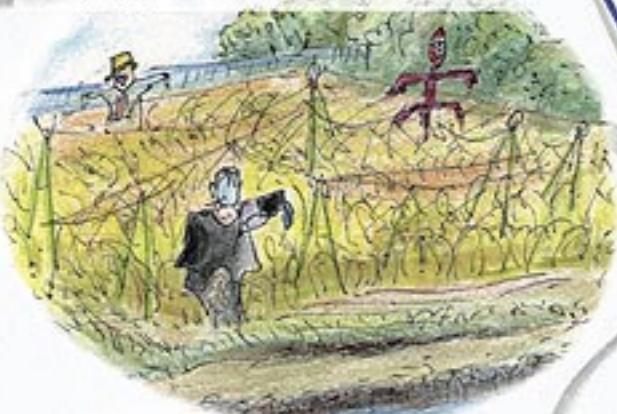
日野は、「多摩の米蔵」と呼ばれていたほど稲作が盛んでした。

いたるところに用水が流れ、水に不自由することがなかったからです。

東光寺小学校

授業で、お米を作っています。

田植え、稲刈り。田んぼの水は、  
日野用水から引いているよ。



水車公園

よそう森公園

薬王寺ぼり

四ツ谷下公園

精進場

日野第一中学校

日野第一小学校

正門前の用水路には、いつも魚が泳いでいる。

大きいコイも、赤ちゃんハヤも、夏には、アユも  
スイスイと。



# よそう森公園

もり こうえん

よそう森公園って、どんな公園？

よそう森に行って、遊ぼう。

いや、よそう。

お化けが出るよ。

いいえ、そうではありません。

よそう森の「よそう」は、「予想する」のよそう。

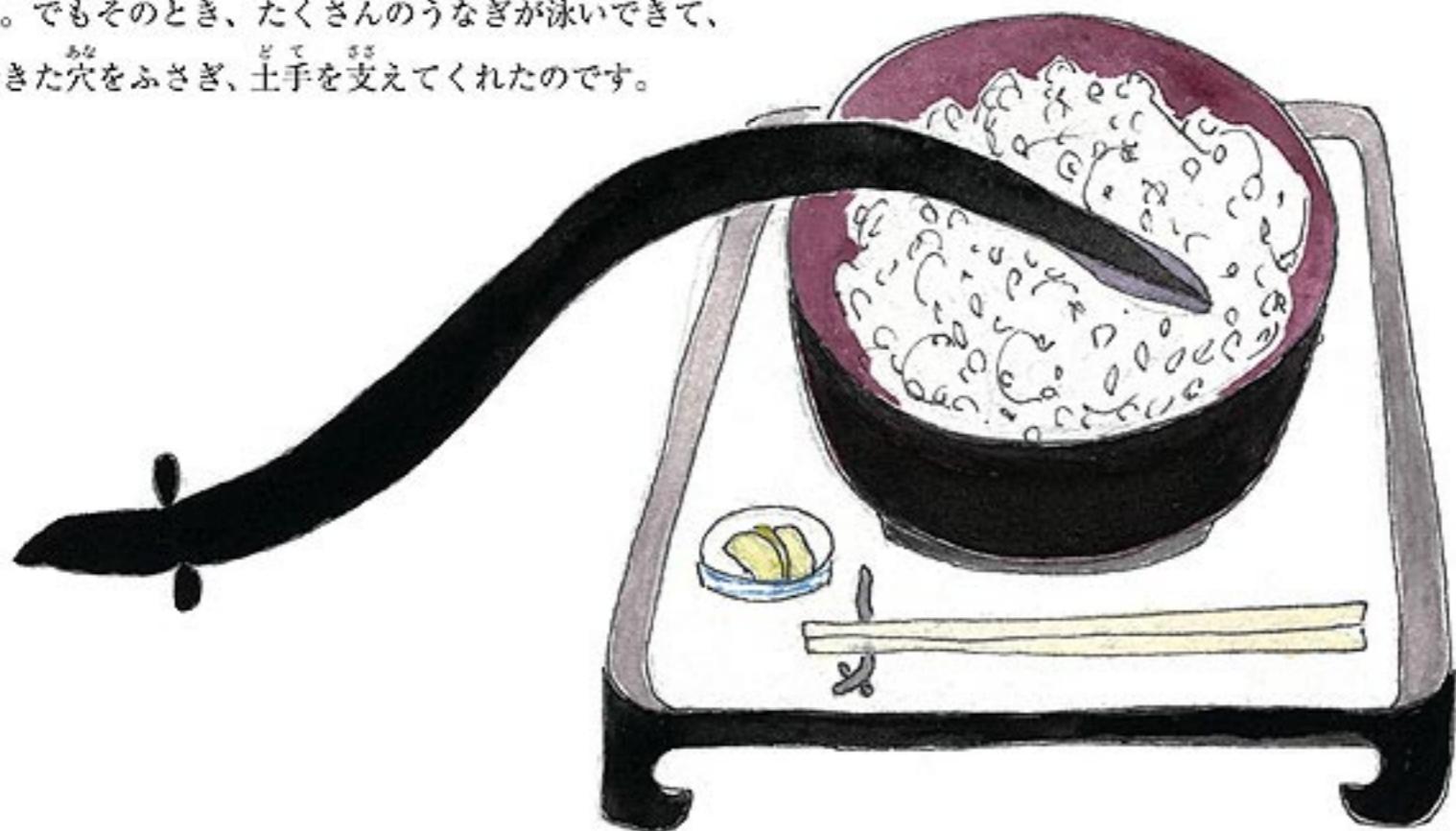
むかし、ここから田んぼを見渡して、米がどのくらいできるだろうかと、  
その年の収穫高を予想したことから、こう呼ばれるようになったそうです。  
こんもりとした丘に立って、むかしの日野を思い描いてみてください。

# うなぎを食べない

日野宮神社に守られている四谷地区。ここには、うなぎを食べてはいけないという決まりがあり、古くから四谷に住んでいる人々は、その決まりをしっかりと守ってくらしています。

どうして、そんな決まりがあるのでしょう。

ある時大雨が続き、多摩川の土手がくずれそうになりました。このままでは田んぼも家も、流されてしまうというのに、どうすることもできません。でもそのとき、たくさんのうなぎが泳いでいて、川の勢いでできた穴をふさぎ、土手を支えてくれたのです。



夏の暑い日に食べると元気が出るうなぎですが、先祖を守ってくれたうなぎへの恩返しなのです。

日野宮神社の菩薩様が着ている衣、うなぎがぶらさがっているみたいでしよう。





## あんざんやくし 安産薬師

とうこうじ やくしどう 東光寺の薬師堂で、イガのついた栗を見たことがありますか？  
むかし、とうこうじむらす 東光寺村に住んでいた人に赤ちゃんができたときのこと。  
ゆめ やくし によらい あらわ えだ 夢に薬師如来が現れて、「枝のついたイガ栗を供えなさい。そうしたら、  
無事にお産ができますよ」と言いました。そのようにしてみると、ほん  
とうに元気な赤ちゃんが生まれたそうです。



ホクホクとおいしい栗ご飯になる栗も、木に成っているときは、固い  
から すんど はり 殻と鋭い針のようなイガに守られています。それがぽっかり割れて、  
おいしそうな栗が見えると、ヤッターとうれしくなります。  
まるで赤ちゃんが生まれたときのよう。

そな くり ねが 供えられている栗は、赤ちゃんが無事に生まれますようにという願い  
の栗。無事に赤ちゃんが生まれましたという感謝の栗です。

# もあかんのん 持ち上げ観音

日野には、めずらしい話がたくさん残っています。

宝泉寺にある、高さが36センチほどの石の觀音様もそのひとつ。願い事を心でとなえながら、持ち上げます。願い事がかなうときは、軽く持ち上がり、かないませんよというときは、重くて動かすこともできません。



ようらえん 幼稚園の小さな子でも、この觀音様を持ち上げることがたり、大人でも持ち上げられないこともあったり……。  
ふしぎ 不思議な觀音様ですね。

# 八坂神社

600年以上もむかしのことです。

多摩川が洪水であふれた後、川辺になにか光るもののが見えました。

なんだろう。

あやしいぞ。

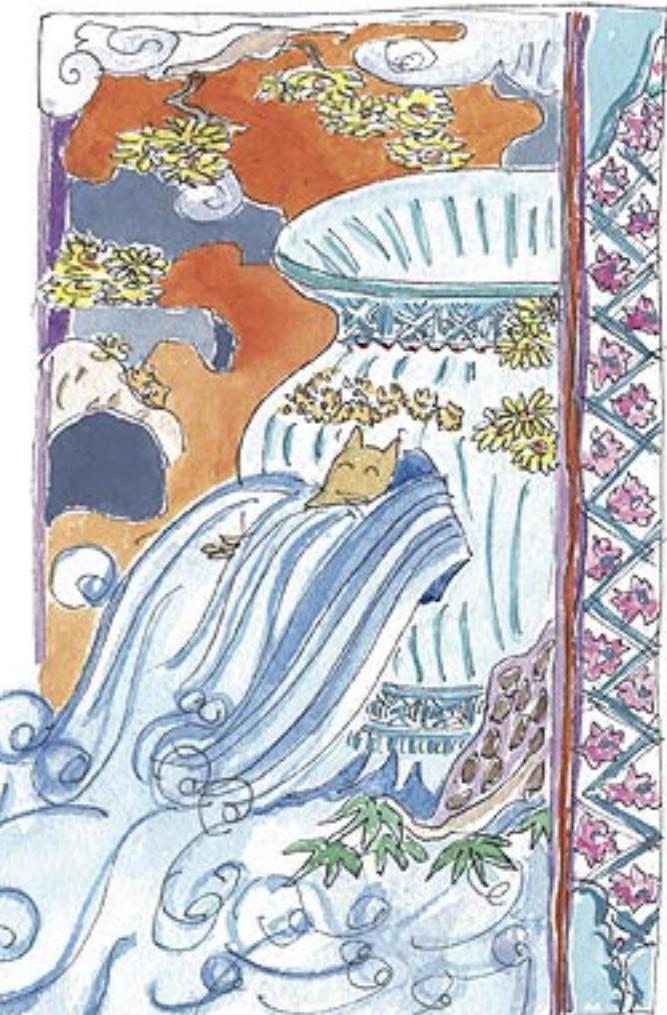
人々は、何日も遠まきにおそれていきました。

でも、ひとりのお年寄りが近づいて拾い上げてみたところ、それは金色

に光る牛頭天王の像だったのです。これは大切にしなくてはいけないと、

祠を建てお祀りしたのが、八坂神社の始まりです。

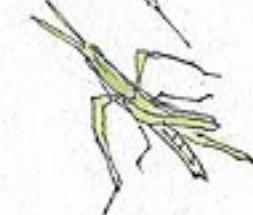
本殿の彫刻は、中国の古い話をもとにしたとても立派なものです。



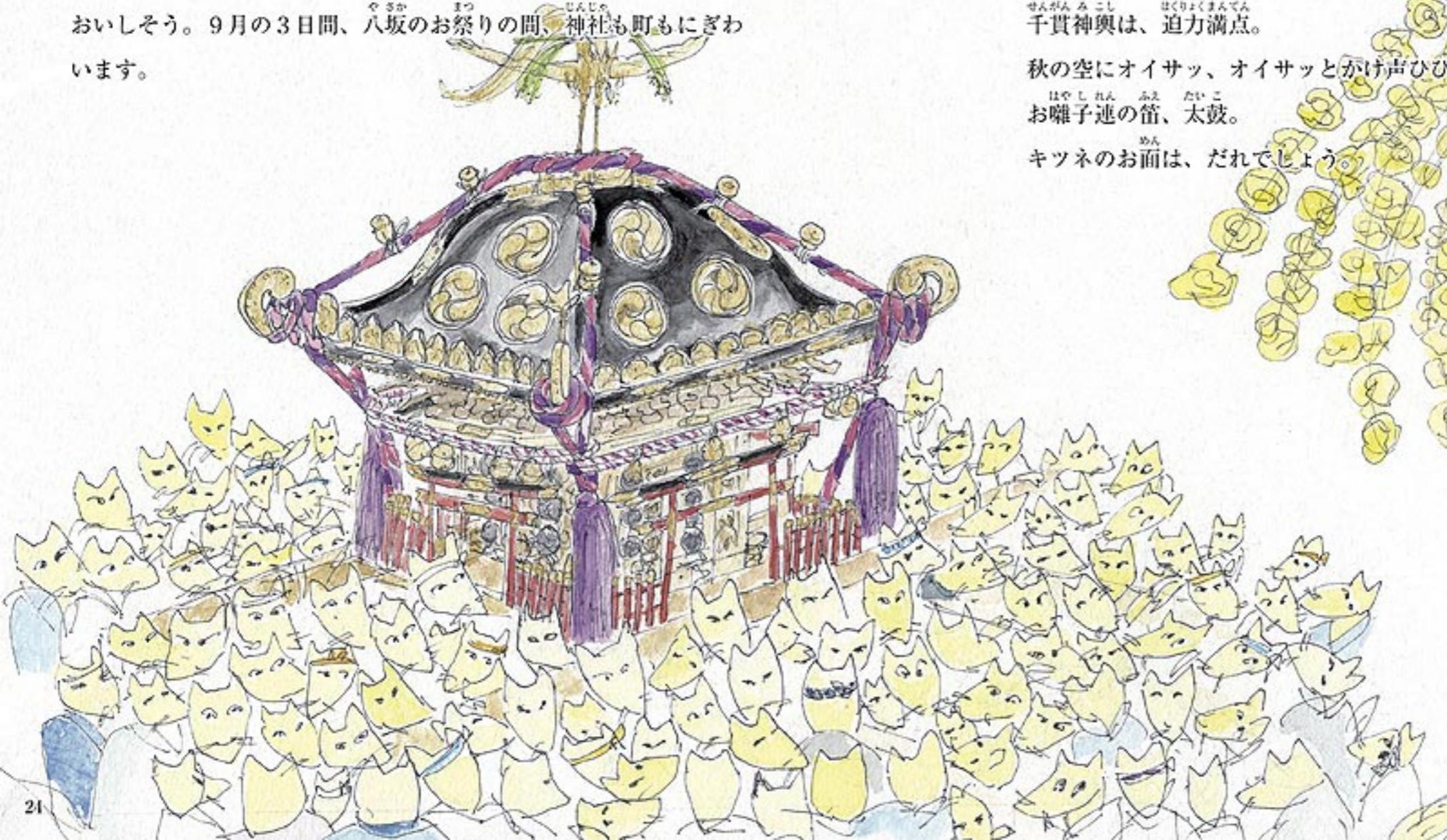
はつもうで みやまい 初詣、お宮参り、七五三、新しく家を建てるとき。八坂は、今も日野宿に住んでいる人にとって、とても大事な神社です。

\*牛頭天王は、インドの祇園精舎の守護神、疫病除けの神様です。明治政府の神仏分離令後、祭神を素戔鳴尊と改め、八坂神社となりました。

# 八坂のお祭り



金魚すくい、たこ焼き、チョコバナナ。屋台のどれもおもしろそう、  
おいしそう。9月の3日間、八坂のお祭りの間、神社も町もにぎわ  
います。



カツン、カツン。

バシッ、バシッ。

朝、御神輿が通る道を竹の「ささら」でたたいで清める「ささら流し」。

その先頭をいくのは、花万灯。

そしていよいよ、御神輿です。

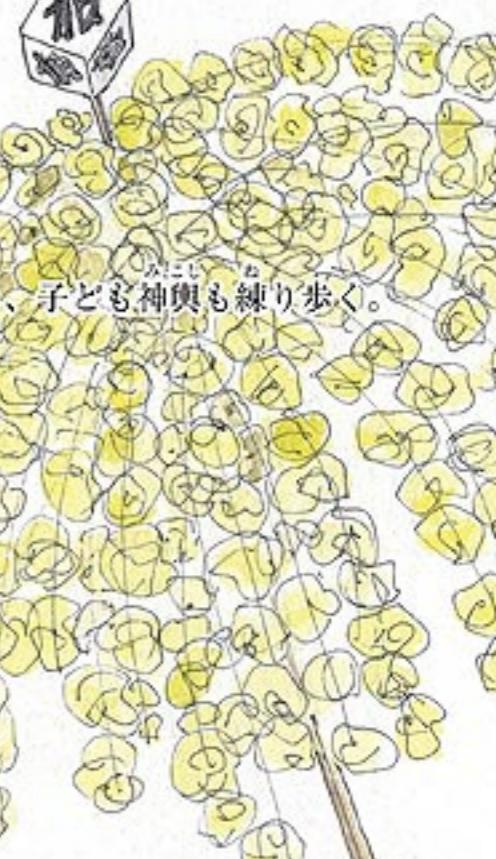
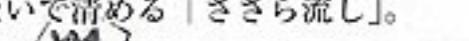
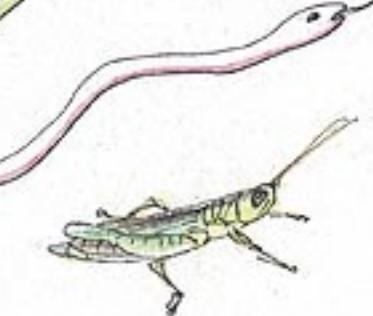
お 押せ押せ、お 押すな。

せんがん みこし はくりよくまんてん  
千貫神輿は、迫力満点。

秋の空にオイサッ、オイサッとかけ声ひびき、子ども神輿も練り歩く。

はやし れん ふえ たいこ  
お囃子連の笛、太鼓。

キツネのお面は、だれでしょう。



# かねこばし 金子橋

日野駅前郵便局のとなりにあるのは、渡辺家の蔵。江戸時代の末に建てられた貴重な建物です。

あれ？

ガソリンスタンドにどうして橋の欄干があるのでしょうか。

地図に載ってはいないけれど、住んでいる人たちは、ここあたりを金子橋と呼んでいます。

かつてここには金子さんという人が住んでいて、だから甲州街道にあった橋を金子橋と呼び、さらにこのあたりを金子橋というようになりました。

この欄干はそのころのものではなく、「ここに川が流れていって、小さいけれど橋があったんだよ」ということをみなさん伝えたくて、造られたものです。

子どもたちは、筒舟を流し、筒のカメに糸をつけて泳がせ、板きれで作った水車を回して、遊んでいました。



# じぞう トンガラシ地蔵

た  
焚き火をしたこと、ありますか？

どんと焼きは？

煙がたくさん出たでしょう。煙が流れるところにいると、目がいたくなつたでしょう。

むかしの家は、囲炉裏やかまどからたくさん煤や煙が出ました。それで目の病気になる人が多かったのです。

今は近くに病院もあるし、薬もすぐに買うことができますが、むかしはそうではありませんでした。「どうか目をおおしてください」と、トウガラシを供えました。

じぞう  
トンガラシ地蔵があるのは、北原地区。10月23日、トンガラシ地蔵は、  
きたばら ちく  
祠を出て、北原自治会館に運ばれます。「おこもり」といって、一晩ここですごすのです。

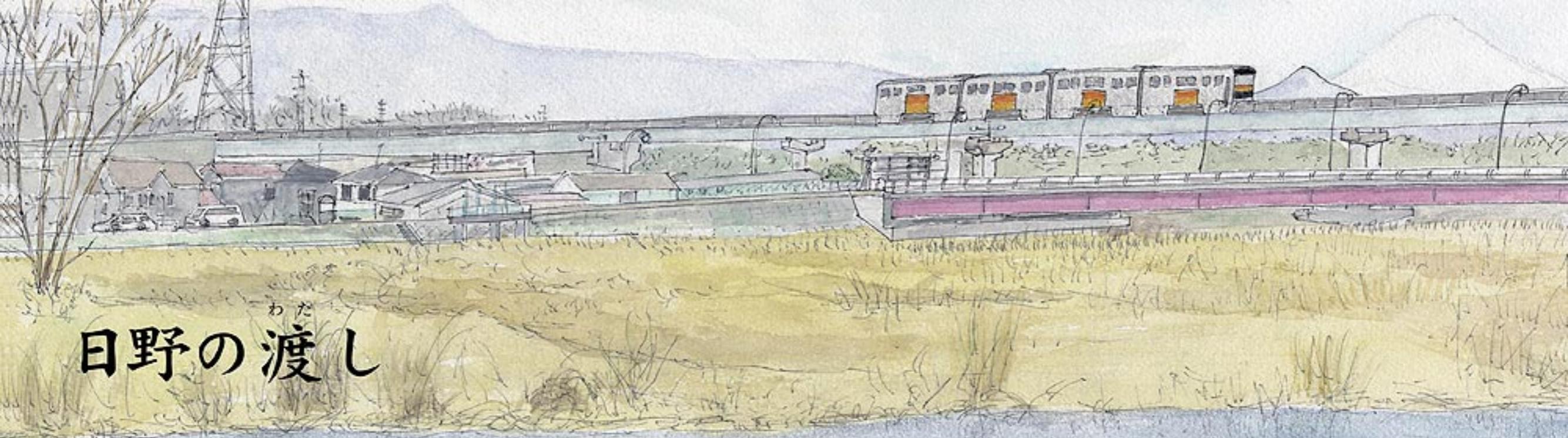


\*どんど焼き…日野では、古くからの「墓の神」という言い方が正式です。



そうえん なかだ もり  
桑園 -仲田の森-



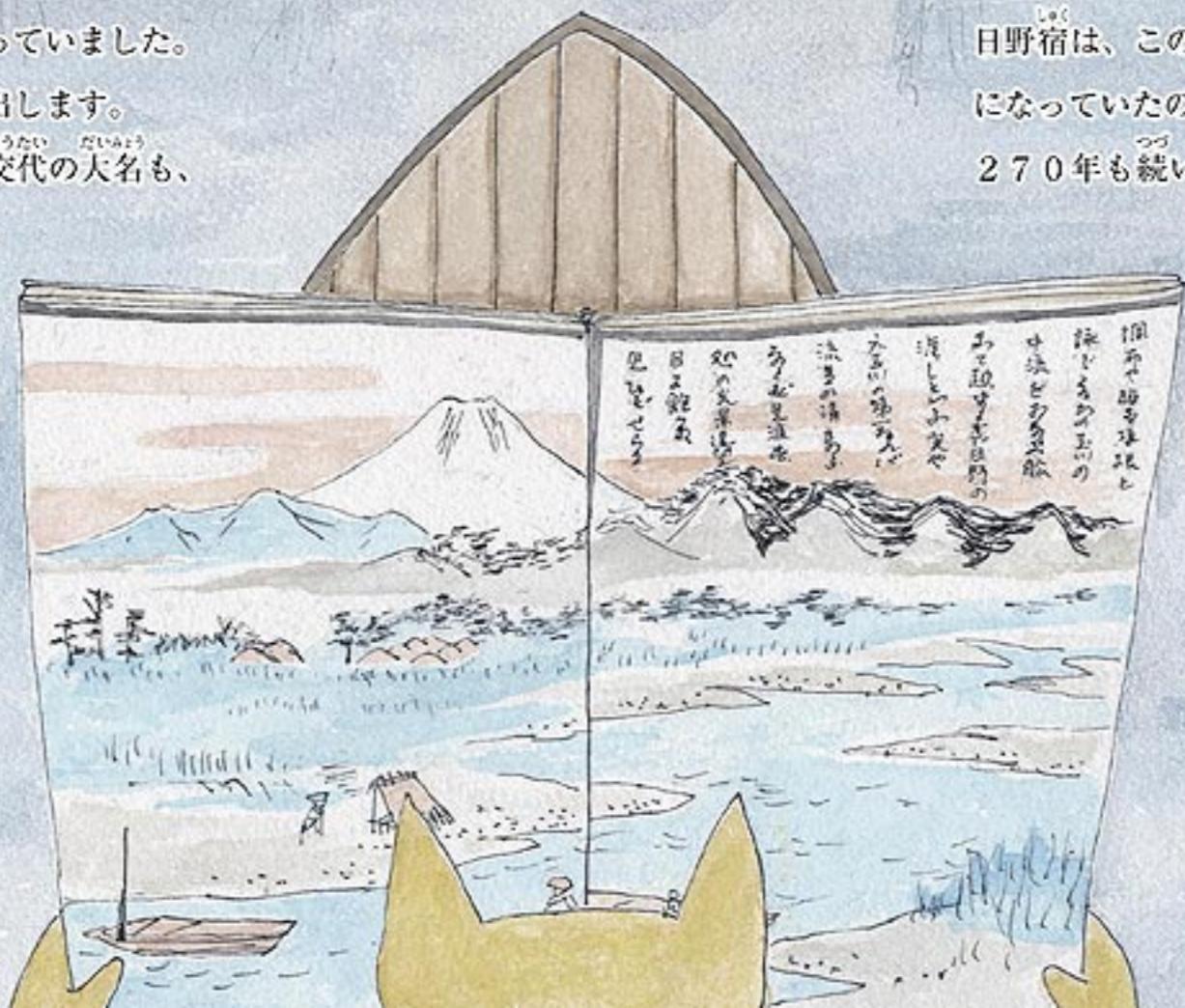


# わた 日野の渡し

むかし、多摩川には橋がなく、舟で渡っていました。  
船頭さんが舟に立ち、長い竹竿でこぎ出します。  
甲州街道を通る商人も旅芸人も、参勤交代の大名も、  
馬もまた、舟に乗って川を渡りました。

日野宿は、この渡し場を管理するという大事な役目を  
になっていたのです。

270年も続いた渡し場は、大正15年（1926）  
に日野橋ができ、その役目を終え  
ました。舟が行き来したその上を、  
今、モノレールが走っています。



しゅく ほんじん  
**日野宿本陣**

瓦のついた門がまえの立派なお屋敷。

江戸時代は、大名や幕府の役人が泊まるところでした。

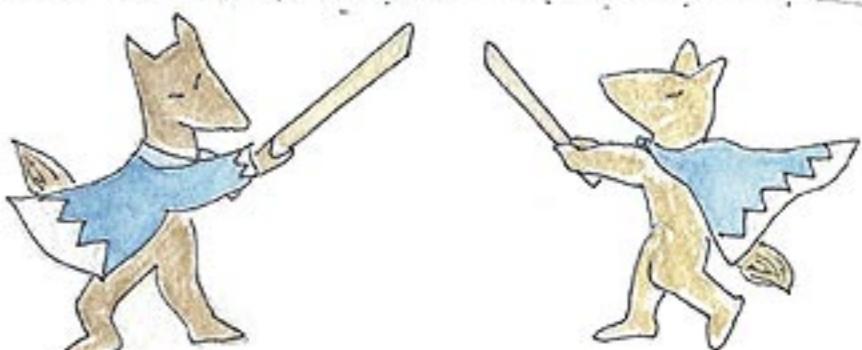
ここに住んでいた佐藤彦五郎は、日野宿最後の名主です。彦五郎の妻は、新選組副長土方歳三のお姉さん。「天然理心流」のけいこ場として本陣の庭を開放しました。

ヤー！

トー！

こんどういろみ　ひじかたとしづら　やまなみけいすけ  
近藤勇、土方歳三、山南敬助、  
いのうえげんざぶろう　おきたそうじ　しんせんぐみ  
井上源三郎、沖田総司ら、新選組の  
ちゅうしん　わがものたち　ばしょ  
中心となった若者達が、この場所で  
けん　うで　みが  
剣の腕を磨き合いました。

ひこころう　こんどういろみ　そうだんあいて  
彦五郎は、近藤勇の相談相手でも  
しんせんぐみ　きょうと　てがみ  
あり、新選組が京都に行ってからも手紙のやりとりをしていました。  
しゃく　しんせんぐみ　かん　きょうと　じりとう　のこ  
日野宿や新選組に関する貴重な資料を残しています。



としょかん

# 日野図書館

日野宿の中心、問屋場（役所）だったところです。「高札」という、幕府の決まりごとを墨で書いた板が、甲州街道に面して立っています。

図書館の建物は、昭和30年代に建てられた日野郵便局舎を利用しています。2階には日野宿や新選組の資料がたくさんあります。

